

東京家政大学 女性未来研究所 公開研究会

日時：平成 30 年 12 月 13 日（木） 15：40～16：10

場所：女性未来研究所

第 8 回

「中学生・高校生の自立とキャリア形成」

思春期・青年期は、アイデンティティ（自己同一性）がテーマであり、「自分とは何か」「自分は何がしたいのか」「自分は何を求めているのか」を問いながら、「自分らしさ」を見つけ、将来につなげて（進路選択して）いく大切な時期となります。

昨年の公開研究会は、附属中学生・高校生を対象に、中学入学時・中学 3 年生次・高校 1 年次に実施した「将来の夢・なりたい職業」のアンケート調査を分析し、生徒のインタビューを中心に報告しました。

今年度も引き続き、「将来の夢・なりたい職業」のアンケートを基に、思春期・青年期の自立について、生活設計への見通しや準備等、ライフコース選択に影響を及ぼす要因の分析・検討を行いました。中学 1 年生（入学時）、高校 1 年生、高校 3 年生の進路選択（夢・職業）から、キャリア形成の変化について分析するとともに、進路決定者の中から数名の生徒へのインタビュー調査を実施しました。同時に、発表者の専門教科である家庭科の授業において、思春期・青年期の自立に向けて、“リスクマネジメント”という同一題材を、中学生・高校生同時期に実施する取り組みを行いました。

今回の公開研究会では、「将来の夢・なりたい職業」のアンケート調査の分析結果とともに、授業実践としての中学生・高校生におけるキャリア形成の広がりについて、報告します。

家政大学附属女子中学校高等学校

教諭 崇田友江・鮫島奈津子

